



うしし  
うん  
うん  
うん

うん  
うん

日

うん  
うん

うん  
うん

うん

うん  
うん

うん  
うん

日

うん  
うん

うん  
うん

うん  
うん

うん  
うん

うん

うん  
うん

うん  
うん

うん  
うん

一 12  
うすし  
おすし

一 11  
うすし  
おすし

一 10  
うすし  
おすし

一 9  
うすし  
おすし

一 8  
うすし  
おすし

廿四日

一 7  
うすし  
おすし

一 6  
うすし  
おすし

一 5  
うすし  
おすし

一 4  
うすし

一 3  
うすし  
おすし

二  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた

あつた  
あつた  
あつた  
あつた

あつた  
あつた  
あつた  
あつた

あつた  
あつた  
あつた  
あつた

あつた  
あつた  
あつた  
あつた

あつた  
あつた  
あつた  
あつた

あつた  
あつた  
あつた  
あつた

あつた  
あつた  
あつた  
あつた

あつた  
あつた  
あつた  
あつた

一 かつら かつら かつら  
二 かつら かつら かつら

一 ちんちん ちんちん ちんちん  
二 ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん  
二 ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん  
二 ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん  
二 ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん  
二 ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん  
二 ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん  
二 ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん  
二 ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん  
二 ちんちん ちんちん ちんちん

一 新 印 子  
打 小

一 子 印 子  
丁 子

一 子 印 子  
印 子

一 子 印 子  
子 印

一 子 印 子  
子 印 子

一 子 印 子  
子 印

一 子 印 子  
子 印

一 子 印 子  
子 印

一 子 印 子  
子 印

一 子 印 子  
子 印

うしりて

みこしえ

おれお

舟

いん

おひ

かきえ

いん

おれ

う

人

改らこい

一橋

ルミニス

おれ

うしりて

一橋

かきえ

おれ

いん

おれ

いん

おれ

いん

おれ

いん

おれ

いん

おれ

くろく

くろく

くろく

くろく

くろく

くろく

くろく

くろく

くろく

くろく

くろく

くろく





チ

チ

つりまわし

人

神

人

カ

人

ハ

カ

カ

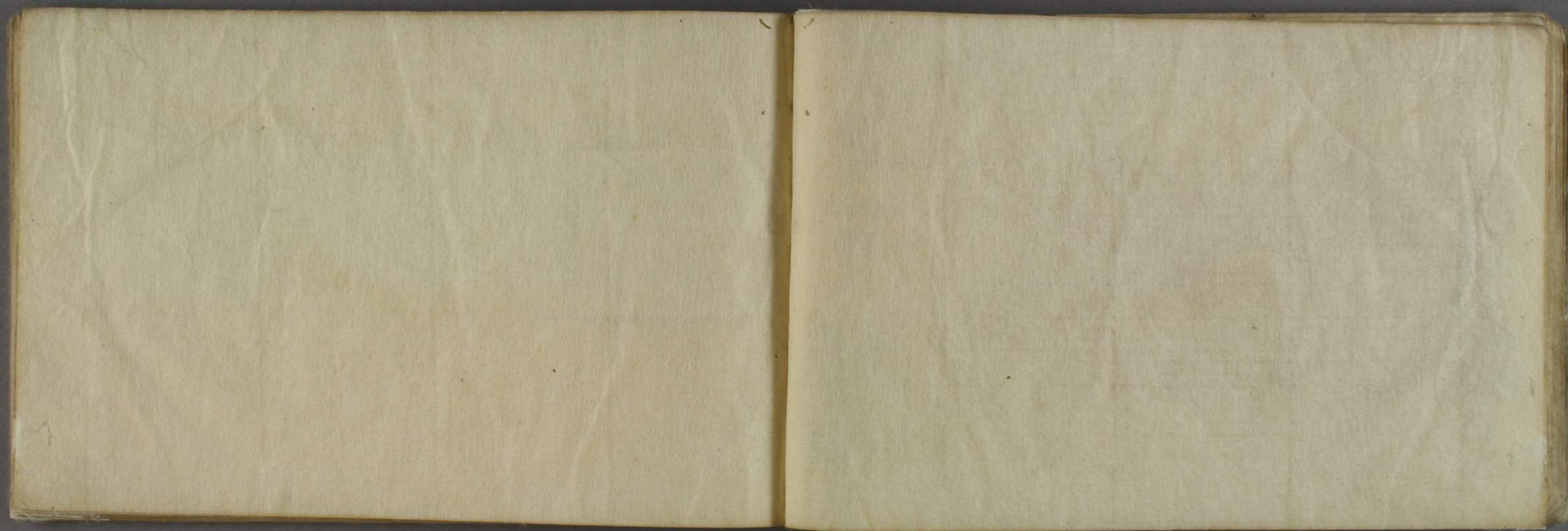
カ

三ノ

一ノ

田中

三ノ



以下  
7 丁  
白紙

栗石敲搗為泥  
塗土即如厚田泥

哮喘 百日咳

王永輔經濟方

上古 系辭

中古 下古

律曆志

弱 史記注

鬼生石句曰

知 禮人生十年

登天 史封禪書

大戴家語可併見 徐無鬼

天帥 莊子

漿 單稱者酢也

真 元一云

愚 智

呂氏春秋

治鼠毒方

千屈菜大 甘草小

右二味煎服若腫痛加

荆芥金銀花各十

次脈中爛有臭氣

黃柏中 天花粉大

右末着脐中

治蛇傷

又端蒼蠅之尾已乾咬

針刺之 其二三寸

從處熟之 其二三寸

上之 十下入毒汁出

外科證治 王壽

鐵針入肉

活風

安瘡口上糊紙

封固牢日即出

猫為物所噬

肺大胃脾心小腸  
膽腎胞焦肝胆屬  
手陰臟手陽手以  
足陰足統陽以是

繞踝風鐵灸拔

鐵灸摘英

提所夾子 正氣  
眼腫

唯少廿乳蛾 十八日

赤卒 奇方  
燒存性  
未吹

心不喜食如疎淡之  
交寒勞瘵之疾 正氣危而  
以行化澤

冲按衛生 陳自明方

多舌七聖 如丁蘇氏

治喉痹阻絕方

大團兒一顆

右合中

高橋經脈方



昨日流火今日蝉  
起來又是夕陽天  
小殿花開長相寬  
交連竹葉危自善報  
有月可司空圖  
若

百日咳 味鴛鴦  
燒末 白湯送下

同上

黑白丑細末  
蜜丸

治諸乳腫 不換金  
加露蜂房 煎服

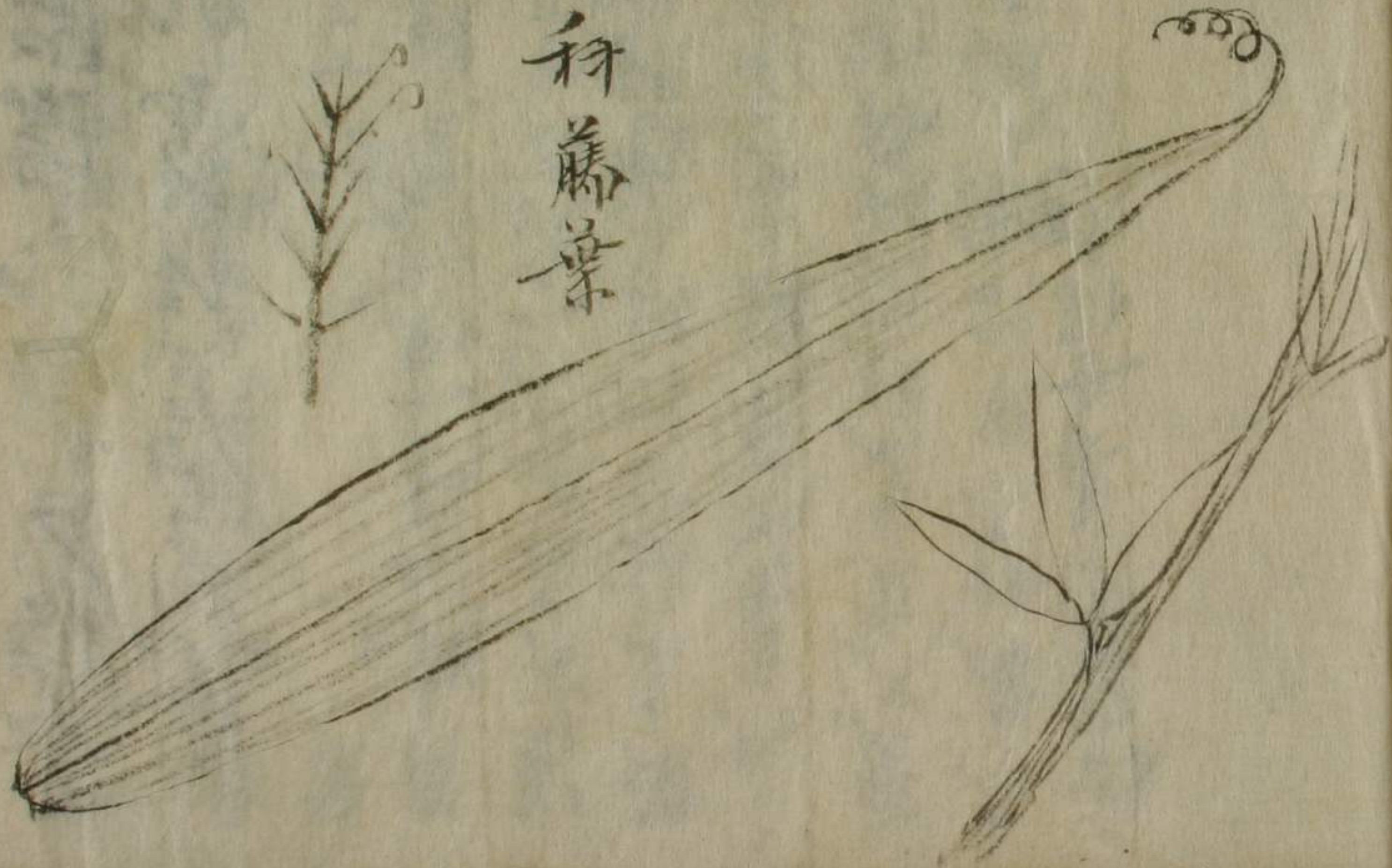
之効

俗曰 毒母保 治人脚底  
不戴如不早 治此病諸方  
氣入皮裏 即消  
取末 放在紅磚上 將腫脚  
浸於尿缸內 一宿 或生  
用者 燒紅磚一塊 將草鞋  
墊腫 不能行走 痛不可忍  
一 治脚走急 破塊脚底

徐杏  
ワウキミワ  
松葉

徐杏 松葉  
ワウキミワ  
松葉

新藤葉



寄糧即高餘糧也產山岩

間服之令人不飢療痲

毒病其功甚速山民遇

歉歲家食之紹興府志

丹如櫟 身全食然醫書云同益

本邦之俗以那嚕法粒

之之者漢也那嚕法粒者

其菽菜也土伏苓之近年官園

有二種一船留者也一從琉球國

致之形狀亦如異船留者薯蕷

長似升菴而厚滑塊根白

色連綴生而肉軟味淡甘瑛

球者葉似薯蕷而微長根似

其菽菜而淡紅肉硬味淡甘

下品也蓋本邦之俗謂之

山芎朮石不依何者此稱

頃日澗會稽縣志紹興府

志云山芎朮即餘糧也又

載療痲毒病從從新歲

按之則歸來芎糧音相

近傳者之強也

千金子

治瘡毒吻瘡方

白枳椇枝鐵上燒取汁

及熱傳之

集類傳諸研計及音指

燒枳椇取汁曰譜 千ヤ

張列先字子星  
吾師李挺  
字子星  
字子星  
字子星  
字子星  
字子星  
字子星  
字子星  
字子星  
字子星

朴產

白小○有數種南通州  
以泉思成如片長于者  
皆為銀魚  
唐之思州出鵝毛腿  
甚多歸歸魚也柏城皮  
魚亦鵝毛腿也

穆仲淳筆記過冬青一名地松  
即苦枝中正名天明精取五六枚同  
鯽魚煮熟去骨及魚食汁治瘰  
癧筒按宋趙德麟候鯖錄其  
枝一名癩蝦草四季皆有之面青  
背白麻紋異奇真者是

花父西德大个赫

武相皇駿遠州除參

尾勢江雍路中

東海道州名又程公之  
詩文穆名村春禱也

赤十字之局赤、一五

有許巴之十四五枚

和妙去巴之同神如

